

【別紙1】まとめ

		課題・問題点	子どもたちにとって望ましい教育環境とは
学習面	学習	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス数の減少 <ul style="list-style-type: none"> ・教員の配置数も減少。全学年1クラス、複式学級になる学校も。 ○免許外指導 <ul style="list-style-type: none"> ・専門性のある中学の教科指導は難しい。 ○教育の低下 <ul style="list-style-type: none"> ・教員の減少は、教育の低下を招くのでは。 ○教員の指導力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・経験、教科等の面でバランスのとれた配置が難しい。 ・教員同士の研鑽が図れない。 ○学力の保障に不安 <ul style="list-style-type: none"> ・免許外授業は教員にとっても負担大。 ○教員の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・町費で教員を雇用し続けるのは難しい。 ○一人一人にきめ細やかな丁寧な指導 	
	行事	<ul style="list-style-type: none"> ○集団活動に活気がない <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や音楽活動など 	
	部活動	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の選択肢減 ○すでに合同チーム ○部活動が成り立たない <ul style="list-style-type: none"> ・1校では競技人数が足りない。 ○部活動の指導者不足 <ul style="list-style-type: none"> ・顧問のなり手が無い。地域へ移行模索。 ○部活動は必要か <ul style="list-style-type: none"> ・部活動よりも学習面、社会性など大事なことがあるのでは。 ○部活動は必要だ <ul style="list-style-type: none"> ・社会性を養う。魅力ある学校の要素では。 ○教育・生徒指導の一環 <ul style="list-style-type: none"> ・顧問との繋がり、部活動に依存している部分多い。 	

	課題・問題点	子どもたちにとって望ましい教育環境とは
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の減少 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の方が生徒減少による問題は深刻。 ○クラス数の減少 <ul style="list-style-type: none"> ・教員の配置数も減少。全学年1クラス、複式学級になる学校も。 ○クラス替えできない <ul style="list-style-type: none"> ・9年間単学級では、デメリットが大きくなるのでは。 ○人間関係の固定化 	
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・教員減は一人の教員が受け持つ校務が増える。 ○教員の知られていない授業以外の仕事 <ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する業務（準備、教材研究、テストづくり、採点等） の他に学校運営上（生徒指導、PTA、防災等）の業務がある。 	
通学	<ul style="list-style-type: none"> ○低学年の登下校 <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に登下校する児童が少ないため不安。 ○時間を通学に使うことへの疑問 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの有意義な時間の確保。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA役員問題 ○地域の不安 <ul style="list-style-type: none"> ・地域がさみしくなる。小学校は地域の宝。地域で育てたい。 ○定住対策への影響 <ul style="list-style-type: none"> ・学校のない地域に子育て世代は定住しないのでは。 ・良い教育を受けられるところに人は集まるのでは。 ・まちづくりにも影響がでるのではないか。 ○町の財政が不安 ○多様化する保護者、価値観 <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する家庭、保護者、環境、社会に不安 	